

再び排水の中

止を申し入れ

葦北の代表ら七人

水俣病問題で新日窒水俣工場と話し合いを続ける葦北沿岸漁業振興協会の藤崎田浦町長、斎藤津奈木村長ら七人は十四日午後四時十九分水俣着列車で来水、再び工場側に排水の即時中止を申し入れた。このあと一行は西田同工場長らと八幡のじゅん環設備などを視察、

くわしく工場長らの説明を聞いたのち話し合った結果、工場長らは「同地域の設備を見て納得された通り工場としても現在出来るだけ早く同所に放出している排水を再使用するじゅん環設備の完成を期して努力中なので遅くとも今月いっぱいには工事を完成、排水を完全にストップする」と答へ同協議会もこれを了承した。